



僻地教育研究施設活動状況

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-04-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9702 |

僻地教育研究施設活動状況

H 6.

- 2月3日 ◇平成6年度第2回僻地教育研究施設研究員会議および編集会議を開催
- 2月23日 ◇アラスカ大学フェアバンクス校ウィリアム・パレット教授（共同研究分担者）、
- ～3月3日 北海道へき地校調査研究のため来道
- 2月26日 ◇ロシアマガダン国際教育大学副学長スタニスラフ・ペニフィスキー教授来道、研
- ～3月6日 究打ち合わせおよび道内のへき地・小規模校の状況について調査
- 3月2日 ◇大学間国際学術会議開催
- 3月 ◇僻研ニュース第9号発行
- ◇紀要『僻地教育研究』第49号（僻研創立40周年記念号）発行
- ◇国際学術・教育研究学内特別経費による研究報告書『環太平洋へき地の諸相—アラスカ・ロシアマガダン・北海道の比較研究』発行
- 5月12日 ◇国際学術共同研究者、アラスカ大学フェアバンクス校ビル・フィスター教授、ア
- ～5月31日 ラスカ大学学生の道内小中学校での教育実習のため来道、22日・後志管内赤井川村訪問、25日・岩見沢校訪問
- 5月19日 ◇谷本一之学長研究打ち合わせのため、アラスカ大学フェアバンクス校訪問
- ～5月24日
- 6月23日 ◇後藤守施設長および門脇正俊教授、現地調査および研究協議のため、ロシアマガ
- ～6月30日 タン国際教育大学を訪問
- 7月25日 ◇平成7年度第1回僻地教育研究施設研究員会議を開催、僻地教育研究施設の岩見沢校移転について協議、阿部岩見沢校主事および芳賀将計委員長（岩見沢）から説明を受ける
- 8月 ◇僻研ニュース第10号発行
- 9月12日 ◇アラスカ大学フェアバンクス校より、パメラ・キーティング教育学部長およびビル・パレット教授が北海道教育大学を表敬訪問、僻研スタッフと共同研究の打ち合わせ、13日、後藤施設長と赤井川村の小中学校訪問、神原町長および赤松教育長とアラスカ大学学生の教育実習について情報交換
- ～9月13日
- 12月6日 ◇チップ・マクミラン助教授、研究打ち合わせおよび現地調査のため来道、田中實
- ～12月15日 助教授（札幌校）・佐藤有教授（岩見沢校）・徳永好治教授（函館校）が、へき地小規模校調査に協力

H 8.

- 2月14日 ◇平成7年度第2回僻地教育研究施設研究員会議および編集員会議を開催、次期施設長として、門脇正俊教授（岩見沢校）を選出
- 3月2日 ◇後藤施設長、研究打ち合わせのためアラスカ大学フェアバンクス校を訪問、アナ
- ～3月10日 クトビックパス村（北極圏内）およびデルタジャンクション地区の、へき地小規模校の調査を実施
- 3月18日 ◇高嶋幸男教授（釧路校）および田中実助教授、現地調査のためアラスカ大学フェアバンクス校を訪問
- ～3月27日
- 3月19日 ◇僻研移転のため、事務引き継ぎ
- 3月22日 ◇岩見沢校へ僻研移転のため、備品等を移動
- 3月 ◇僻研ニュース第11号発行
- ◇紀要『僻地教育研究』第50号発行
- ◇国際学術・教育研究内特別経費による研究報告書『環太平洋へき地の諸相（Ⅱ）—へき地教育研究を通して21世紀の教育をさぐる—』発行